

シネマガイド



今年も、ボーっと観てたら梁木ディレクターに叱られる見ごたえ大な映画が満載！これを読めば、もっと映画祭を楽しめる公式招待作品のミニ情報をお届け。複雑な映画のテイストが“なんとなく”分かる星取表も参考にしてください。

梁木D→

アジアの新作・話題作

星取表は★★★★がマックス、☆限りなく「なし」（注）チャートはあくまで目安です。感じ方には個人差がございます。

苦味★★ 渋味★ エグ味☆ 人間はゆがんだる度★★★★

日本初
上映



恋の街、テヘラン

Tehran: City of Love

2019 / イラン、イギリス、オランダ / 103分
監督: アリ・ジャベルアンサリ
ジャンル: ゆがんだ恋バナ

冷たい街で愛を切望する、
夢やぶれた3人の中年男女の物語

無口なボディビルトレーナー、太めの美容クリニック受付嬢、生気のないモスクの歌手。愛に飢えた冴えない男女に、突如、心ざわめく恋の予感!?

ココに
注目

イランの都会派恋愛事情

監督は、テヘラン生まれながら10代でカナダに移住。名匠アッバス・キアロスタミのワークショップのため1年間テヘランへ。その後、ロンドン映画学校で映画作りを学び、現在はイギリス在住。ムスリム国家での恋愛におけるタブーのさりげない描き方は、海外を拠点にした監督ならではのかもしれません。ちなみに、イランで男性らしさの象徴は“マッコョ”。しかし、最近は美容にこだわる男性も増えているそうです。



アリ・ジャベルアンサリ監督

上映日時 14日 10:00、18日 10:45、19日 16:45

苦味★★★★ 渋味★★ エグ味★★★★ 闇がスゴか度★★★★

日本初
上映



ナイト・ゴッド

Night God

2018 / カザフスタン / 113分
監督: アディルハン・イェルザノフ
ジャンル: 社会派 SF ドラマ? 悪夢系アート?

見た者すべてが焼き尽くされるという
闇の支配者“夜の神”の正体とは?

世紀末を予感させるような闇に支配された町。神や善悪の観念さえも失い、カオスと化した世界で、父と娘は耐え難い不条理と暴力に遭遇する。

ココに
注目

毒々しい絵画のような映像世界

暗い夜空を不気味に照らす彗星の赤い尾。あちこちが朽ち崩れかけた街角、寒々と湿った室内…。ほとんどのシーンが精巧に作り込まれたセットのなかで撮影され、淡々としながらも緊張感あふれる展開は、まるで演劇の舞台を見ているようです。フェデリコ・フェリーニ的な悪夢世界で描かれる黙示録的な寓話劇。そのアーティストックな映像世界に圧倒されます。



映画場面写真より

上映日時 15日 16:00、17日 14:05、19日 10:00

苦味★★ 渋味★ エグ味☆ がんばらんぬ度★★★★

日本初
上映



シヴァランジャニとふたりの女

Sivaranjani and Two Other Women

2018 / インド / 123分
監督: ヴァサント・S・サーイ
ジャンル: オムニバス女性ドラマ

今も昔も変わらない妻たちの現実
それでも凛と立つ女たち

80年代、90年代、そして2007年ごろ。インド南部に生きる3人の女性のエピソードを通して、時代を経ても変わらない女性差別の現実を描く。

ココに
注目

根強く残る女性差別への問題提起

伝統的に社会的自立より家庭の仕事強いられてきたインドの女性たち。タミルの代表的な作家の3つのストーリーを基に、時代を超えて根強く残る、家庭内の女性差別と、そのなかでもたくましさを見失わない女性たちの姿が描かれています。インド・バンガロール国際映画祭のアジア映画部門で最優秀賞を、インド・ムンバイ映画祭で男女平等における最優秀映画賞を受賞した作品です。



映画場面写真より

上映日時 15日 10:15、18日 16:15、19日 10:15

苦味★ 渋味☆ エグ味★★★★ ヤバ味ざわ★★★★

日本初
上映



デモンズ

Demons

2018 / シンガポール / 84分
監督: ダニエル・ファイ
ジャンル: 神経衰弱派ホラー

迷路のような深層心理の中に描かれる
集団社会の潜在的な恐怖と狂気

女優の卵と高名な演出家。2人をそれぞれに蝕んでいく奇妙な感覚と幻覚の正体とは? 社会に潜在する隠れた暴力の恐怖を描く異色ホラー。

ココに
注目

多彩な経歴をもつ出演俳優たち

劇中で演出家ダニエルを演じる人物は、シンガポールの有名な映画監督かつ舞台演出家。日本でも2000年に公開された「サタデー・ナイト・フィーバー」をモチーフにしたダンスアクション・ムービー「フォーエバー・フィーバー」(1998年)の監督グレン・ゴーイです。また、主演女優役のヤン・ヤンシュアン・ヴィツキーはファイ監督の前作「Snakeskin」(2014年)にも出演した女優で、監督の親友。ライターとしても活躍する才女です。



ダニエル役のグレン・ゴーイ

上映日時 15日 19:30、17日 10:00、19日 12:30

自国外
初上映

苦味★ 渋味☆ エグ味☆ なんかつ遊遊度★★★★



夜明けを待ちながら

Ten Seconds Before Sunrise

2018 / インドネシア / 83分
監督: テディ・スリアトマジャ
ジャンル: ドラマのない青春ドラマ

軽快に、そしてスリリングに描き出す
きらびやかなジャカルタ・ナイトライフ
東南アジア最大のレイブ。一夜の狂宴
に向け、主人公と悪友たち、ドラッグ
ディーラーの DJ とその彼女の1日は、
予想外の疾走を始める。

上映日時 14日 18:30、18日 13:45、19日 12:45

ココに
注目

ジャカルタの若者カルチャー

外交官の父親が東京赴任中に生まれ、5歳まで日本で過ごしたという監督は、その後オーストラリア、アメリカ、インドネシア、イギリスで育った国際派。「タクシードライバー日誌」は2013年の本映画祭でも上映されました。ジャカルタの若者が熱狂するレイブ“DWP”のシーンをはじめ、音楽・ファッションと、ジャカルタの若者カルチャーが満載。イケメン&美女ぞろいの出演者にも大注目です！



映画場面写真より

九州初
上映

苦味★★ 渋味★ エグ味★ 注目度★★★★



マンタレイ

Manta Ray

2018 / タイ、フランス、中国 / 105分
監督: プッティボン・アルンベン
ジャンル: 社会派だけど超アート

ミャンマー国境近くの海と森が舞台
浮遊感に満ちた友情とサスペンス
ミャンマー国境近くのタイの村。森で
倒れていた男を助けた漁師の青年は、
彼を“トンチャイ”と名付け、不思議な
共同生活を始めるが…。

ココに
注目

監督は福岡で短編映画を制作

実は、福岡と深い縁がある監督。2007年、福岡アジア美術館のアーティスト・イン・レジデンスで短編映画を制作。さらに日本財団フェローシップの助成を受け、同館に約1年間滞在し、糸島で撮影した短編など2本を発表しています。その後、釜山国際映画祭ほかの助成金を得て本作が完成。同作は2018年のヴェネツィア国際映画祭で、タイ映画初となるオリゾンティ賞^(※)に輝いています。^(※)オリゾンティ部門は、映画の新しいトレンドを紹介することを目的としています。



プッティボン・アルンベン監督

上映日時 16日 10:15、17日 14:30、18日 13:00

九州初
上映

苦味★★★★ 渋味★ エグ味★★ 完成度がスコカ度★★★★



アルファ 殺しの権利

Alpha, The Right To Kill

2018 / フィリピン / 94分
監督: プリランテ・メンドーサ
ジャンル: 真つ向唐竹割りの社会派ドラマ

その影には何が潜んでいるのか？
闇深き薬物戦争を暴いた衝撃作
麻薬取引の大家アベルの組織を撲滅する
よう指令を受けた警察官エスピノは、内
通者からの情報を得て SWAT とともに取
引現場に乗り込む…。

ココに
注目

監督プリランテ・メンドーサ

得意の手持ちカメラスタイルで、フィリピン社会の暗部に光を当てる、フィリピン映画第3黄金期の最先鋭メンドーサ監督。45歳で監督デビューという遅咲きながら、たった7年間で世界三大映画祭のコンペティション部門に作品を出品するという偉業を成し遂げました。本作はサンセバスチャン映画祭の審査員特別賞受賞作です。同監督は、映画人の若手育成にも尽力しています。



プリランテ・メンドーサ監督

上映日時 14日 13:30、16日 17:15、19日 17:00

日本初
上映

苦味★★ 渋味★★ エグ味★ 一粒で三度おいしい度★★★★



それぞれの道のり

Lakbayan (Journey)

2018 / フィリピン / 117分
監督: プリランテ・メンドーサ、ラフ・ディアス、キドラット・タヒミック
ジャンル: 巨匠のオムニバス

三人三様の持ち味を生かして描く
それぞれの“旅”の行き着く先は
フィリピン映画生誕100周年を記念して、
「旅」をテーマに製作された、フィリ
ピン・アートシネマの巨匠3監督による
オムニバス作品。

ココに
注目

凝縮された巨匠たちの世界観

本作のポイントは、『立ち去った女』(2016年)のディアス、『ローサは密告された』(2016年)のメンドーサ、『月でヨーヨー』(1981年)のタヒミックという世界的巨匠3人の世界観を、1本で楽しめることです。特に長尺で知られるディアス作品を40分足らずで見られるのは超貴重。アジア・インディペンデント映画の父と呼ばれるタヒミックは2012年福岡アジア文化賞を受賞しています。



映画場面写真より

上映日時 14日 10:15、16日 13:00、19日 19:15

自国外
初上映

苦味★★ 渋味☆ エグ味★★ ぶつとんどる度★★★★



マルカド、月を喰らうもの

Markado: The Moon Devourer

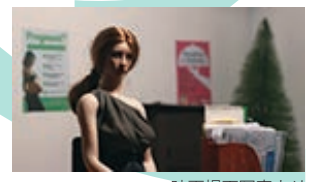
2018年 / フィリピン / 90分
監督: ジョー・バクス
ジャンル: バイオレンスアクション

絶望の向こう側に待っているものは？
独特の世界観で構築された渾身の一作
台風による洪水後、強盗、殺人など残酷
な犯罪が蔓延する街。ヒロインは、
唯一の家族・祖母の入院費のため麻薬
の運び屋をしていたが…。

ココに
注目

フィギュア登場の裏事情

実写とフィギュアによるストップモーションアニメの組み合わせが斬新な作品。唐突に切り替わり、入り交じる実写とアニメのバランスが、絶妙な緊張感を生んでいます。この演出、実は製作期間が長引き、予算も尽き、スタッフも役者もいなくなった結果、思いついた苦肉の策。フィギュアは監督の私物で、衣装もセットも全て手作りだそうです。これぞ予測不能なエンターテインメント！



映画場面写真より

上映日時 14日 18:15、18日 10:15、19日 14:45

九州初上映

苦味★★ 渋味★★★ エグ味★ こりゃスゴか度★★★★

轢き殺された羊

Jinpa

2018 / 中国 / 87分
監督:ペマツェテン
ジャンル:地味そうで超カッコいいドラマ


夢か現か、現生か前世か
これは死んだ羊が見せた夢なのか
誤って羊を轢き殺してしまったトラック運転手ジンパは、道中、ある男を車に乗せる。彼の名もまたジンパ。男は父の敵をとりに行くという。



ココに注目

“胡蝶の夢”のようなチベットの箴言

2人の“ジンパ”が会うのは広大なチベットの原野。建物もほとんどなく、砂煙が舞う荒野や、人々が賑わう宿場町は、まるで「マッド・マックス」や「ブレードランナー」に出てくる世界の様です。ウォン・カーウアイがプロデューサーというのも納得の、圧倒的な映像世界は見もの。ポイントは、劇中に出てくるチベットの箴言。何度も読み返して、見返したくなる映画です。



映画場面写真より

上映日時 14日 16:15、16日 20:15、17日 12:30

九州初上映

苦味★★ 渋味★ エグ味☆ いや、なるほど度★★★★

自由行

A Family Tour

2018 / 台湾、香港、シンガポール、マレーシア / 107分
監督:イン・リャン
ジャンル:中華圏の事情がよくわかるドラマ


創作の自由、家族を想う気持ち
映画作家の葛藤を浮き彫りにする
5年前に撮った映画が原因で、香港で活動する映画監督ヤン。中国に残るがんの母親と再会するため、彼女の夫は台湾での家族旅行を計画する。



ココに注目

自由を求める民衆の叫び

言論の自由を守るため、香港に住むことを選んだ主人公に監督自身の境遇を投影した本作。劇中でも触れられる「雨傘運動」や現在メディアが報じる香港の大規模デモは、民主的な生活を守ろうとする民衆の叫びです。先日、中国政府が台湾への個人旅行の暫時停止を発布。本作には、現在進行形で揺れ動く中国・香港・台湾の複雑な関係性が反映されています。



映画場面写真より

上映日時 14日 21:00、16日 15:00、17日 16:45

東南アジア・リージョナル特集

日本初上映

苦味★★ 渋味★★★ エグ味★ こりゃスゴか度★★★★

フンバ・ドリーム

Humba Dreams

2019 / インドネシア / 75分
監督:リリ・リザ
ジャンル:自分探しの青春ドラマ

人の想いが詰まった時間の記録
フィルムをめぐる青春ロードムービー
父が遺した 16 mmフィルムを現像するための薬品を探して、故郷フンバ(スンバ)島を旅することになった主人公の自分探しロードムービー。




上映日時 15日 19:15、17日 10:15

ココに注目

多様な文化と民族の集合体、インドネシア

「虹の兵士たち」(2008年)など、本映画祭でもおなじみのリリ・リザ監督作品。1万3000以上の島々からなるインドネシアは、非常に多様な民族から構成されています。「我々が“何者”であるか」という疑問を追及するのが使命」と語る監督は、地域や民族に焦点を当てた数々の作品を撮ってきました。本作にはインドネシア東部のフンバ(スンバ)島を訪れた監督の記憶が投影されています。



映画場面写真より

自国外初上映

苦味★★ 渋味★★ エグ味☆ 主演女優の可憐度★★★★

誰かの妻

Other Man's Wife

2018 / インドネシア / 97分
監督:ディルマワン・ハッタ
ジャンル:片隅に生きるドラマ


女性は男たちの所有物にすぎないのか
従属の中で少女が見つけた希望とは?
「男たちの所有物」として、男たちが命ぜまるままの人生を生きてきた少女の前に、初めて「自分の意志で愛したい」と思う男性が現れるが…。



ココに注目

寡黙な少女の、繊細な心の動き

ムスリムの家庭に育った主人公は、高校も卒業しないうちに親同士の決めた縁談で牧場主の跡取りの妻となります。古い因習に逆らう同世代の若者たちも増えるなか、そんな人生を甘んじて受け入れているかのような少女。しかし、ある男性への恋心と自分を表現できる唯一の趣味が、彼女に静かな変化をもたらしていきます。微細な心の動きを視覚化する映像表現が秀逸な作品です。



映画場面写真より

上映日時 15日 10:00、18日 16:00

自国外初上映

苦味★ 渋味★ エグ味☆ 映画づくりは大変度★★★★

カンペーン

The Wall

2018 / タイ / 92分
監督:フンソン・ナークブー
ジャンル:映画を作るドラマ


現実とフィクションの間で綴られるある映画監督の情熱と青春の物語
僧侶でなく映画の道を選んだ自分の少年時代。その映画化を模索する監督はスタッフとロケハンに訪れた故郷で、過去の自分と向き合う。



ココに注目

インディペンデント映画業界の実情

監督の映画作りへの情熱と、インディペンデント映画づくりの厳しい現状がリアルに描かれた自叙伝的作品。監督志望のアシスタントが語るカンヌ受賞作のセオリーや、映画の資金繰り、スタッフのギャラ交渉など、低予算映画業界の内幕が赤裸々に描かれています。監督は、本作以外に数々の映画やドラマで、個性的なバイプレイヤーとしても活躍しています。



フンソン・ナークブー監督

上映日時 14日 13:15、19日 14:30

本映画祭と10年来の親交があるチャン・リュル監督が、昨年春、福岡市内でオールロケを行った映画『福岡』。今年2月に行われた第69回ベルリン国際映画祭のフォーラム部門でワールドプレミアされ、注目を集めた本作の日本初上映を記念して、チャン・リュル監督作品の特集上映を行います。

[チャン・リュル監督プロフィール]

中国吉林省延辺朝鮮族自治州生まれ。延辺大学中国文学科卒業後、大学講師、小説家としても活動。短編・長編映画製作を経て2005年に発表した長編映画『キムチを売る女』は釜山国際映画祭ニュー・カレント部門のグランプリ賞及びカンヌ映画祭でフランス独立映画 配給協会(ACID)賞を受賞。『風と砂の女』(2006年)は、第57回ベルリン国際映画祭のコンペティション部門ほか釜山国際映画祭、香港国際映画祭に招待され、『豆満江』(2010年)はベルリン国際映画祭審査委員賞、パリ国際映画祭第一等賞及び釜山国際映画祭最優秀アジア映画賞(NETPAC賞)に輝く。『群山：鷺鳥を詠う』(2018年)は、昨年の釜山国際映画祭ガラプレゼンテーションで上映、韓国の映画雑誌『CINE21』による「2018年ベスト15」に選出。『福岡』は今年2月の第69回ベルリン国際映画祭フォーラム部門でワールドプレミアされた。



チャン・リュル監督

日本初
上映

苦味★ 渋味★★ エグ味☆ 見てほしか度★★★★



福岡

Fukuoka

2019 / 韓国 / 86分
監督:チャン・リュル
ジャンル:ポスト・ドラマ時代のドラマ

過去を引きずる中年男2人と1人の少女。そぞろ歩く彼らの胸に去来するものは?

古本屋の店主ジェムンは、店の常連であるソダムの誘いで福岡を訪れることに。そこには、仲たがいたままの大学時代の先輩ヘヒョがいた。

ココに
注目

見慣れた街・福岡で、見過ごしていた風景

自作『慶州』(本映画祭で2014年上映)と同じ名の看板を見かけ、福岡での映画制作を企画したという監督。台詞や展開はほぼ現場のアドリブという本作には、監督が感じたままの“福岡”が切り取られています。また、こじれた中年男2人の仲を取り持つ女性役パク・ソダムは、今年カンヌ国際映画祭で韓国初めのパルム・ドールを受賞した作品『パラサイト 半地下の家族』にも出演する注目の女優です。



左が女優のパク・ソダム

上映日時 15日 13:30、16日 17:30、18日 19:00

九州初
上映

苦味★★ 渋味★★ エグ味☆ 「福岡」のお供に度★★★★



群山：鷺鳥を詠う

Ode to the Goose

2018 / 韓国 / 121分
監督:チャン・リュル
ジャンル:ドラマ

独特の空気と時間が流れるその街で互いに心の迷路をさまよう男と女

日本統治時代の面影が残る地方都市・群山を訪れたアマチュア詩人と年上女性。2人が宿を得た民泊には、無口なオーナーと自閉症の娘がいた。

ココに
注目

監督のもとに集結した豪華俳優たち

『慶州』の次に作られた本作は、『福岡』への伏線もちりばめられた1本。物語の半ばから始まり、ラストで映画の冒頭に戻るという構成も秀逸です。また、主演のパク・ヘイルとムン・ソリに加え、民泊の主人にチョン・ジニョン、その娘にパク・ソダム、食堂の女主人に女優ムン・スク、さらに『福岡』のユン・ジェムン、『春の夢』のハン・イェリなど、豪華な出演陣にも注目。



主演のムン・ソリ

上映日時 15日 17:00

福岡市総合図書館での上映作品

福岡市早良区百道浜3-7-1 ☎ 092-852-0600(代表) ¥500円(大人)、400円(大高)、300円(中小) ※映画祭チケットではご鑑賞いただけません。図書館でチケットをお買い求めください。

苦味★★ 渋味★★ エグ味★ ラストシーンが凄い度★★★★



風と砂の女

Desert Dream

2006 / モンゴル、韓国、フランス / 125分
監督:チャン・リュル
ジャンル:ドラマ

故郷に留まり続ける男と故郷を去った母子

モンゴルと中国の国境にある砂漠の村。厳しい環境に、村人が次々と去るなか、故郷に留まる男と、遠く北朝鮮から逃げてきた母子の物語。

ココに
注目

実話から生まれたストーリー

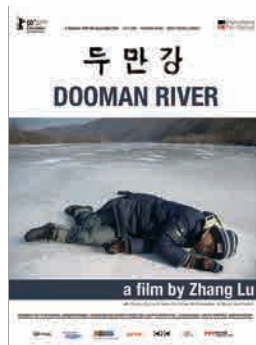
監督は中国吉林省延辺朝鮮族自治州の生まれ。中国国籍を持つ朝鮮族です。本作は、監督が世界的に注目されるきっかけとなった『キムチを売る女』(2005年)の翌年に発表された作品。「脱北者がモンゴルにいる」という話を聞き、その長く険しい旅に思いをはせた監督が、未踏の地モンゴルでの撮影を敢行し、作り上げたもの。物語は、現地の人々の話がもとになっているそうです。



映画場面写真より

上映日時 16日 11:00

苦味★★★★ 渋味★★ エグ味★ チャン・リュルの真骨頂度★★★★



豆満江

Dooman River

2010 / 中国、韓国、フランス / 92分
監督:チャン・リュル
ジャンル:ドラマ

純粋で汚れのない少年たちの友情と非情

中国と北朝鮮の国境を流れる豆満江。脱北者と村民との対立に揺れる村で、主人公は食料を求めて川を行き来する北朝鮮の少年と出会う。

ココに
注目

監督の製作スタイル

チャン・リュル監督の故郷も豆満江流域。脚本執筆当時、元をたただせば同じ民族である脱北者が置かれている状況を、政治問題でもイデオロギーではなく、人と人の関係というものをヒューマンな視線で描かなければと思ひ、企画したそうです。本作は世界各国の映画祭で高い評価を受け、以降、映画祭で親交を深めた韓国人俳優たちが続々参加する、監督の新スタイルが定着し始めます。



映画場面写真より

上映日時 16日 14:00